



鹿児島純心女子大学
被災地支援義援金を贈呈

2月29日(水)、社会福祉協議会本所で、同大学大学祭実行委員長の増永さんから同協議会今別府会長へ、東日本大震災被災地支援義援金の贈呈が行われました。同義援金は大学祭で集めたもので、増永さんは「微力ながら被災地の皆さんの心の傷が少しでも癒やされたらうれしい」と述べました。



川内
五穀豊穡を祈願
次郎次郎踊りを奉納

3月4日(日)、久見崎町の諏訪神社と水引町の射勝神社で、伝統芸能の次郎次郎踊りがそれぞれ奉納されました。どちらも農作業を舞台に滑稽な芝居を交えた農耕劇。テチョ(父親)と次郎(息子)の面白おかしいやりとりに、見物客からは笑いが起こっていました。(写真:射勝神社の次郎次郎踊り)



樋脇
丹精込めて作られた
商品がずらり!!

3月4日(日)、旧野下小学校グラウンドで、野下青空市が開催されました。手作りにこだわった商品が販売されるとあって、販売開始時刻前から行列ができるほど。各店舗には木炭や地元産の米・野菜、ねったぼ(サツマイモの餅)などが所狭しと並び、多くの買い物客でにぎわっていました。



島立ちする生徒たちへ
歌で熱いエール

3月13日(火)、里港で、光岡洋さんが歌う「島立ちの春」の曲発表と合わせ、歌碑の除幕式がありました。同曲は、甌島を舞台に、島を離れ一人暮らしを始める中学生たちにエールを贈る内容。当日は、里中学校を卒業する15人の生徒らに向け、光岡さんが熱い思いを込めて、歌を披露しました。



早春の川内川をコースに
マラソン・ウォーキング大会開催

3月11日(日)、川内川堤防などをコースに、第11回川内川河口マラソン・ウォーキング大会が開催され、県内外から1,117人が参加。参加者らは、思い思いのペースで川内川沿いの景色を楽しみながら、汗を流していました。また、市の特産品や焼酎などが当たる抽選会も大盛況でした。



鹿島
ツバキ満開
春風受けて気分爽快!!

3月4日(日)、鹿島町で、第29回つばきマラソン大会が開催されました。心配されていた天候にも恵まれ、1kmのウォーキングコース、1・3・5kmのマラソンコースに乳幼児から高齢者まで約150人が参加。沿道にツバキが咲き誇るコースを楽しみながら、完走・完歩しました。



株式会社アクセレートデバイス
安部代表取締役(写真中央)

株式会社アクセレートデバイスと
立地協定を締結

2月22日(水)、市役所本庁で、株式会社アクセレートデバイス本社工場(樋脇町)の水引町移転に伴う立地協定調印式が行われました。同社は平成22年にLED(発光ダイオード)電球の開発に成功。今回、同製品の生産性向上を図るため移転を行うもの。新たな雇用創出や地域経済の活性化が期待されます。



市内各地から
暖かい日差しを浴びて
ツクンたちが背比べをしています
(東開聞町)

平成24年3月15日撮影



▲各地区自慢の特産品が勢ぞろい(コミュニティブランド市)



▲掘り出し物が見つかったかな!(フリーマーケットコーナー)



▲役者人生を軽妙な語り口で振り返った笹野高史さん(記念講演)



▲田の神さあにインタビュー!?(宍野下自治会による劇)



▲力作に思わず目が釘付け(作品展示コーナー)

2月25日(土)・26日(日)、サンアリーナせんだいで、「学びで生まれる強い絆～出会い、繋がり、広がる生涯学習の輪～」をテーマに、生涯学習フェスティバルが開催されました。会場内では、日頃の学習成果の発表の場として、市内各種団体によるダンスや和太鼓、劇などの舞台発表や作品展示が行われました。屋外では各地区コミュニティ協議会による地元特産品の販売やフリーマーケットなども同時開催され、約1万人の人出でにぎわいました。

26日には、俳優の笹野高史さんによる「待機晩成」をテーマにした記念講演が行われました。これまで数々の賞に輝いた役者人生の道のりをユーモアたっぷりに話され、来場者の笑いを誘い会場を沸かせてくれました。

学びで生まれる強い絆
大盛況!!生涯学習フェスティバル